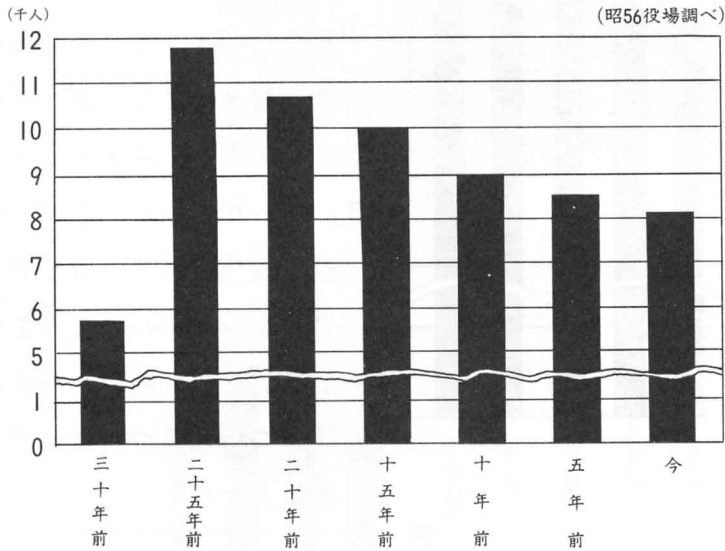


(2) 町のようすのうつりかわり

人口のうつりかわり 矢祭町の人口が、急にかわっている年があるのはなぜでしょう。

矢祭町の人口のうつりかわり



左のグラフは、今から30年ほど前から、矢祭町の人口がどのようにかわってきたかをあらわしたものです。

年表とぼうグラフとをつき合わせて、人口が急にかわったわけを調べてみましょう。

<調べかた>

- 人口が急にかわったところに、○印をつけましょう。
- 年表を読んで、そのころ、どんなことがあったかを調べましょう。

矢祭町のおもなできごと

三十年前	二十五年前	二十年前	十五年前	十年前	五年前	今
<ul style="list-style-type: none"> ● 村立小中学校の新しい校舎ができた。 ● さようどう集にゆう所ができた。 ● 村のやくばがあたらしく建てられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 矢祭村ができた。 ● とよさと村とたかぎ村が合併した。 ● こうみん館がはじめてできた。 ● 学校の建てましがおこなわれた。 ● いい村が矢祭村に合併した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 矢祭村が矢祭町となった。 ● 国道のはそりがはじめられた。 ● あたらしい村づくりがはじめられた。 ● 下関河内小学校の建てましが行われた。 ● 矢祭町の小学校の数は二〇五一人であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道バイパスができた。 ● あずま橋がコンクリートの橋になった。 ● 矢祭町はいくじよができた。 ● 矢祭町の人口が一万人をわった。(九、九九八人) ● 石井小学校がつきんコンクリートづくりとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町水道ができた。 ● ぶどう館ができた。 ● 東館小学校が鉄きんコンクリートづくりとなった。 ● 東館に衣りよう工場ができた。 ● 生活かいぜんセンターが東館にできた。 ● 大坂に林道ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町営住宅が南石井にたてられた。 ● 下関河内小学校が鉄きんコンクリートづくりとなった。 ● どの家にも電話が引かれた。 ● 学校給食センターができた。 ● 矢祭町の小学校のじどう数が二〇〇人以下となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 矢祭町内小学校全部にプールができた。 ● 岡岡団地ができた。 ● 新しい町づくりがはじまった。